

教育・文化・スポーツ

中学校における 通級指導教室の充実を!



村崎 浩史 議員

現在、玖島中学校と郡中学校に通級指導教室が設置されているが、生徒数と教員の配置体制を確認したい。また、生徒個別の支援計画を策定しているのか。その状況を教育委員会は確認しているか。通級指導教室の担当教員は専門的な知識、技術が不可欠であるが、研修は十分行われているのか。担当教員へのサポートも充実させるべきではないか。

答 通級指導教室の生徒数は、玖島中学校が15人、郡中学校が13人、担当教員は、各校1人である。生徒個別の支援計画については、策定しており、教育委員会でも把握している。担当教員へのサポートについては、市教育委員会主催の研修会を年5回実施するとともに、県教育センターの講座や県教育委員会主催の研修会を受講させて、スキルアップを図っている。

教育・文化・スポーツ

今後の幼児教育 ・保育無償化について



小林 史政 議員

国における平成31年10月からの幼児教育・保育無償化を受け、大村市の第2子保育料の無料化が今後どうなるのか。また、現在の大村市における待機児童数は何名か。さらに、今回の制度変更で、保育の需要が高まり、今以上に待機児童が増加すると考えられるが、受け皿となる保育施設は充分に対応できるのか。

答 今後示される国からの情報を基に、現行の第2子保育料無料化制度の継続の可否を判断していきたい。また、平成30年4月1日現在の待機児童数は、75名である。保育の需要の増に対しては、本年度中に現行のおおむら子ども・子育て支援プランにおいて無償化を見据えた需要見直しを立てたい。



都市整備

新幹線建設工事が 農地に及ぼした影響



古閑森 秀幸 議員

新幹線建設におけるトンネル工事が、減水・濁水など地下水の水脈に影響を及ぼした事例が新聞等で報道されている。トンネル工事による影響を受けた耕作地の所有者への対策・支援についてどのように考えているのか尋ねる。

答 新幹線の工事に起因する農業用水や井戸の枯渇などの問題が発生した場合、事業主体である鉄道・運輸機構が対応することとなっている。現在はトンネル工事中であるため、応急的な対応を行っているが、工事完了後も、地下水の復元について追跡調査し、状況に応じて個別に対応することとしている。



都市整備

空港大橋の拡幅か 第二空港大橋の新設を要望



山北 正久 議員

3月に空港大橋道路上で空港へ向かう定期大型バスと市内方面へ向かう軽乗用車が正面衝突する事故が発生した。軽乗用車は大破し自走不可となり、大型バスも前面とタイヤが破損し自走困難となった。空港大橋は一時全面ストップとなり、約2時間にわたり大渋滞が発生した。利用者から空港大橋の拡幅か第二空港大橋の新設要望が出ているがどうか。

答 現在、空港にかかる橋は建設から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。危機管理の観点から、複数の交通手段を確保することは非常に重要であると考えられるため、今後しっかりと県と協議をしていきたい。

